

			2025	
分野／開講部局	必要 単位数	科目名 (緑は第一部門、オレンジは社研 開講科目)	開講 学期	曜日 時限
Ⅰ. 社会・文化・地域 1. 世界と日本 2. 異文化接触 3. 日本語教育の歴史と現状 4. 日本語教員の資質・能力	4	比較文化学講義A(松原 真)(日本文学を考える)	春夏	金3
		日本語教育学講義B(太田 浩)(日本と世界の留学生政策と実践)	春夏	木2
		アジア文化論A(尹 恵貞)(メディア空間と東アジアの文化)	秋冬	水4
		国際社会学特論(飯尾 真貴子)	秋冬	月2
		比較・国際教育学(太田 美幸)	春	月3・木3
		国際開発論A(上田 元)	休講	
		社会開発論A(上田 元)	休講	
		社会開発論B(小泉 佑介)	休講	
Ⅱ. 言語と社会 1. 言語と社会の関係 2. 言語使用と社会 3. 異文化コミュニケーションと社会	4	比較文化学講義B(吉田真悟)	休講	
		日本語教育学講義H(庵 功雄・太田 陽子)(やさしい日本語の諸相)	秋冬	水1
		文化交流の技法と実践(鈴木 雅之)	秋冬	水4
		国際協力の実務と方法(松本 勝男)	春夏	金5
		多言語社会論(安田 敏朗)(近代日本語史の諸問題)	春夏	木6
		社会言語論A(吉田 真悟)(社会「英語」論:英語との向き合い方を考える)	秋冬	月2
		社会言語論B(佐野 彩)(ヨーロッパの言語と社会)	秋冬	火2
		言語政策論(嶋田 珠巳)(言語政策とコミュニティ)	春夏	月2
		言語と社会B(寺尾 智史)(言語と権力)	春夏	火4
Ⅲ. 言語と心理 1. 言語理解の過程 2. 言語習得・発達 3. 異文化理解と心理	4	日本語教育学講義F(阿部 仁)(異なる文化を受け止める)	秋冬	火4
		日本語学講義C(早川 杏子)(定量的な言語の研究手法)	秋冬	火2
		日本語教育学講義K(早川 杏子)(第二言語習得)	春夏	月3
		異文化理解の理論と実践(小田 隆史)	冬1	集中講義
		多文化社会の人間形成(太田美幸)	休講	
Ⅳ. 言語と教育 1. 言語教育法・実技(実習) 2. 異文化間教育・コミュニケーション教育 3. 言語教育と情報	8※	日本語教育学講義A(西谷 まり)(日本語教授法)	春夏	火1
		日本語教育学講義C(阿部 仁)(参加型学習法)	春夏	火4
		日本語教育学講義G(太田 陽子)(日本語教育学概論)	春夏	水1
		日本語教育学講義J(太田 陽子)(教室と学習のデザイン)	秋冬	火3
		日本語教育実習A(早川 杏子)(国内実習)	春夏	火3
		日本語教育実習B(太田 陽子)(国内実習)	春夏	火3
		日本語教育実習C(早川 杏子)(海外実習・ベトナム)	秋冬	月1
		日本語教育実習D(太田 陽子)(海外実習・マレーシア)	秋冬	火1
Ⅴ. 言語一般 1. 言語の構造一般 2. 日本語の構造 3. コミュニケーション能力	6	日本語学講義A(松下 達彦)(日本語語彙の学習・教育)	秋冬	木1
		日本語学講義B(庵 功雄)(日本語学入門)	春夏	水2
		日本語学講義D(岩崎 拓也)(コーパス分析の基礎)	秋冬	月3
		日本語学講義E(木田 真理)(日本語教育文法概論)	秋冬	水2
		社会言語学入門(荒井 幸康)	春夏	火2
		一般言語学入門(吉田 夏也)	春夏	火2